

赤十字news 11月号

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



2011赤十字運動標語
「Together for humanity」
～人間を救うのは人間だ。～

発行日:平成23年11月10日 (第52号)
発行所:日本赤十字社鳥取県支部
鳥取市東町1丁目271
TEL0857-22-4466
発行責任者:事務局長 尾田 一壽

鳥取県支部からのお知らせ 感染予防と拡大防止

感染症の流行する季節になってきました。

11月号では簡単にできる感染予防と拡大防止の対策をご紹介します。

【予防するためにはどうしたらいいの?】

咳や発熱のある人に近寄らない、人ごみを避ける、手指を清潔に保つ、といったことが推奨されます。

簡単に日常生活に取り入れられる対策をご紹介します。

マスクの正しい着用

「不織布マスク」を着用します。感染した人が正しく着用することによって、咳、くしゃみによるウイルスの拡散を防ぐことができ、感染拡大を防ぎます。しかし、マスク着用による防御に過信せず、お互いに距離をとる、人ごみは極力避ける等の感染予防策が重要です。

マスク使用方法例

1 ノーズフィッターを上に
してギャザーを縦にのばす
※生地目の大きい面を外
側に使用

2 マスクに顔をあて、ノ
ーズフィッターを鼻・頬の
カーブに合わせて曲げる

3 マスクをあごの下まで広
フィットさせる

情報提供: 日清紡ホールディングス(株)

咳エチケット

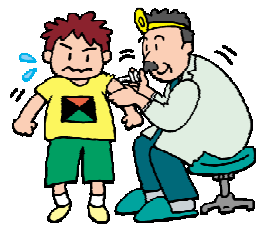
- 咳、くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔を背けましょう。
- 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- 症状のある人はマスクを正しく着用し、感染防止に努めましょう。

「感染したかな?」と思ったら…

「感染したかな」と思っても、慌てずに自宅で安静を保ち、こまめに水分補給をしましょう。発熱やその他の症状がないか観察してください。医療施設を受診する際は、必ずマスクを着用しましょう。また、出来る限り自家用車を利用して受診しましょう。

赤十字の活動は、皆さまから頂く社資(社費・寄付金)で支えられています。

鳥取赤十字病院からのお知らせ インフルエンザワクチンの接種を開始しました！！



強いぞ！！
インフルエンザワクチン君



今年度もインフルエンザワクチン接種を実施しております。

接種をご希望の方は事前に予約をお願いいたします。

尚、今年度は接種期間が短くなっておりますので、お早めのご予約をお勧めします。

お問合せ先：鳥取赤十字病院 医療安全対策室感染担当 (Tel: 0857-24-8111)

接種期間	平成23年10月3日～平成23年12月31日 【事前予約制】	
接種対象者	接種を希望される方全員（優先接種対象者の定めはありません。）	
接種回数	◎13歳未満の方	2回
	◎13歳以上の方	1回 （医師の判断で2回接種となる場合があります。）
接種料金	◎1回目（23年度）	3,675円
	※高齢者、小児については、お住まいの市町によって接種料金の軽減措置があります。 詳しくはお住まいの市役所、町役場にてご確認ください。	
予約先	◎入院中の方	ご入院中の病棟の看護師にお申し込みください。
	◎通院中の方	各診療科の看護師にお申し込みください。
	◎上記以外の方	中央処置室の看護師にお申し込みください。

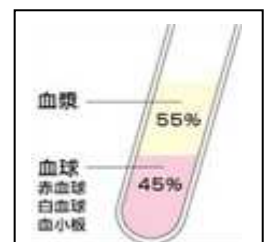
鳥取県赤十字血液センターからのお知らせ ★献血していただいた血液について Q&A★

これからインフルエンザが流行し、冬季に向けて献血者の減少が予想されます。献血へのご協力をお願いいたします。血小板の成分献血は期限が4日間しかありません。（その内1日検査に時間がかかります。）特に平日の血小板成分献血にご協力をお願いします。

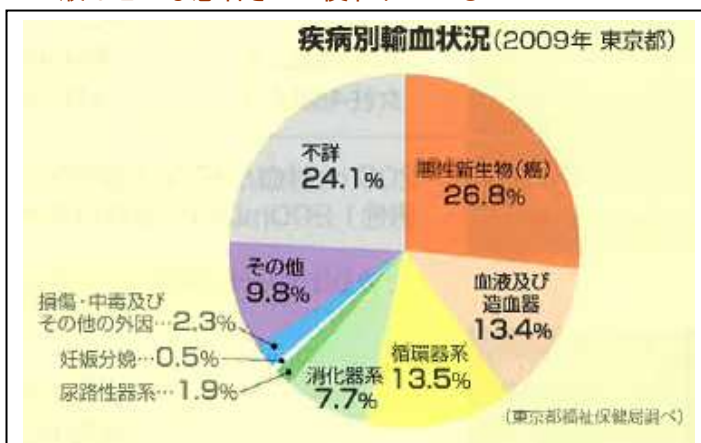


Q 血液の成分って？

上層の液体成分が血漿で、下層は有形成分（赤血球、白血球、血小板）である血球です。また、血液の約55%は血漿で、残りの約45%は、血球です。



Q 血液はどんな患者さんに使われているの？



大量出血等の際に使われているイメージが大きいかもしれませんが、実は割合としては、ガン患者さんの治療に使われることが1番多いんです。

